

小中一貫教育校 高円寺学園

杉並景観録

SUGINAMI
Keikan-Roku



第二十六号



高円寺学園は、区内で二校目となる区立小中一貫教育校です。杉並第四小学校・杉並第八小学校・高円寺中学校の三校が統合されて、この4月に開校しました。JR高円寺駅から徒歩7分、旧高円寺中学校の校地に新校舎が建てられました。

建築概要

所在地：杉並区高円寺北1丁目4番

敷地面積：11,361.59㎡

建築面積：4,407.81㎡

延床面積：18,612.28㎡

校舎棟・アリーナ棟、附属棟
(体育倉庫、駐輪場、守衛室、飼育小屋)

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

階数：地上6階地下1階

最高高さ：28.585m

地域の防災拠点にも

本学園は、環状七号線から少し入った場所にあり、敷地の一部が住宅地に接しているため、これら周辺環境への配慮を行い、計画・設計されています。

・歩行者の安全に配慮し、敷地の北側と東側には2mの歩道状空地を確保

・建物の上部のセットバックやバルコニーを設けないことにより、圧迫感を軽減

・アリーナ棟の地下化により、周辺への日陰の影響に配慮
・建物には、必要な教室、面積を確保しながら、施設全体のボリュームをコンパクトにした設計

・環状七号線から敷地内へ消防車輛等の動線を確保するほか、太陽光発電、雨水利用、防災井戸、マンホールトイレなどの設備を備え、地域の防災拠点としても機能の充実を図っています。

建物・敷地内の緑化

壁面や屋上、敷地外周部などを可能な限り緑化し、周辺に対して潤いのある施設づくりを行っています。

屋上は環境学習用のテラスとしても利用され、田んぼを設置してイネを育て、菜園ではヒマワリや野菜を育てています。

グラウンドにある倉庫も屋上緑化をし、学校敷地周辺には、四季を感じられるような樹木を配置し、一部はプライバシーにも配慮して、高木植栽にしています。



小中一貫教育の特色をいかして

小学1年生から中学3年生までが通う本学園では、義務教育9年間の学びの系統性・連続性を重視しています。

施設一体型の区立小中一貫教育校としては初めての施設となります。施設一体型とは、小学校と中学校が同じ建物内にあり、2〜3階が小学校の教室、4階に中学校の教室があります。3階には、図書・ラーニングセンターや多目的・ランチルームなどもあります。これらは、小学校と中学校の共有スペースとして児童・生徒どちらも利用することができ、小学生と中学生の自然な交流が生まれる空間となっています。



交流ホール



屋上プール



多目的・ランチルーム

また、1階玄関ホールに「交流ホール」という広い空間を設け、集会や部活、児童の学習の場などの様々な活動に広く使用できる工夫をしています。

三校のもつ歴史と伝統を受け継ぐ

統合前の三校の歴史を引き継ぐ本学園では、それぞれの学校が培ってきたものを大切に持ち寄り、一緒に力を合わせて育てていく心が感じられるような工夫がされています。歴史を飾るメモリアルコーナーがあるほか、階段や壁面の一部に各校のイメージカラーを使用し、校舎をやさしく彩っています。

イメージカラー

▼杉並第四小学校：敷地の桜と校舎外壁の桜色

▼杉並第八小学校：シンボルキャラクター「はっちい〜」の黄色

▼高円寺中学校：阿波踊り部の法被の色の青色

▼高円寺中学校：シンボルツリーのクスノキの緑色



杉並第八小学校
シンボルキャラクター
「はっちい〜」

シンボルツリーのクスノキを用いた時計のモニュメント（高さ約2m20cm）



荻外荘となみすけ、ナミー デザインマンホール蓋が設置されています

区公式キャラクター「なみすけ」「ナミー」が荻外荘を紹介している「デザインマンホール蓋」が、(仮称)荻外荘公園前の道路に設置されています。荻外荘へお越しの際は、色鮮やかで可愛いマンホールを探してみてください。



国指定史跡 荻外荘 復原・整備へのご寄附のお願い

歴史的価値があり、建築物としても貴重な荻外荘を往時の姿に復原し、訪れる皆さんをおもてなしできる公園として整備します。

復原・整備に当たり、皆様からのご寄附をお待ちしております。

1万円以上ご寄附をいただいた方は荻外荘倶楽部の会員となり、整備の進捗状況などをお伝えする会報紙の送付や、限定イベントに招待いたします。

ご寄附は、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の「杉並区」のページへアクセスしてください。



ふるさとチョイス杉並区 検索